

## 給食レンジャー あらわる！

21日（水）児童集会（健康委員会主催）には、委員児童3名の扮する『給食レンジャー』が登場しました。そして、給食着の身に付け方の注意事項（マスクは鼻まで覆う・帽子から髪の毛を出さない）や、食事のマナー（苦手なものを残さない・食器を投げ入れない）などを全校児童に呼びかけました。確かに、「あと一步」よくなったら麻績の子文句なし、と望まれる給食時のあれこれについて、給食レンジャーは、「ピー」のホイッスルとともに注意を促して、颯爽と去って行きました。

休み時間を使っての練習を、わたしは事前に見せてもらっていたので、全校児童の反応がとても楽しみだったのですが、案の定レンジャーの登場とともに歓声が上がり、子どもたちの関心が一気に惹きつけられました。子どもの胸におちる発表であったと思います（校長講話もそうでありたい）。お聞きすると、担当の下崎先生は夏休みにこのレンジャーの衣装を手作りして、児童とともにシナリオづくりをして備えてきてくださったとのこと。数ヶ月にも及ぶ構想が実を結んだ集会でした。



「諸悪」を正す 正義のレンジャー参上

## 金管バンド『6年生感謝の会』

19日5・6校時、5・6年生は一年間自分が使ってきた金管楽器の洗浄をしました。楽器屋さんの指導を受けて、楽器を分解し、水を張ったたらいに浸けたりかけ流しの水を当てたりしながら丁寧に汚れを落としていきました。一年間にみっちりたたまった汚れが落ちていき、それは今日までのがんばりの証であるようにも思えました。



お世話になった楽器に感謝

6時間目の後半、「感謝の会」が行われました。6年生一人ひとりに中島先生から、それぞれの活躍の姿や今までのがんばりについてのお言葉をいただくと、少し恥ずかしそうにしながら、でも誇らしげに胸をはる6年生の姿が印象的でした。5年生からは、一人ひとりに宛てられたメッセージの書き込まれた色紙が贈られました。5年生新部長の原笹莉奈さんや、矢口先生、鳥海先生、清水先生からも温かい感謝のお言葉が贈られました。

昨年度、さらに今年度と、年々演奏の質が高まっていることを感じ、また周囲の皆様からも同様のお誉めの言葉をたくさんいただいていた金管バンドの皆さん。その中核を担ってきた6年生の皆さんには、心からそのがんば



中島先生からの温かいメッセージ

りに感謝します。そして、そこに一年後の自分の姿を重ねていてくれたであろう5年生にとっても、この会がとても大切な機会であったことを感じました。

こうして麻績小学校の伝統として金管バンド活動が次の世代に引き継がれていくのですね。

20日(火)、4年生が楽器体験を始めました。そのなかで、それぞれ自分にあう楽器や、挑戦してみたい楽器を決め

ていくこととなります。やがて、1曲目の練習にも取りかかるのですが、そこまで6年生がサポートしてくれることを昨年度知りました。

準備して待つ6年生のもとへ4年生が順番に訪れて、それぞれの楽器の音出し体験を始めました。そこには優しく助言している6年生の姿がありました。そして、4年生にとっては、今の6年生の姿こそが、自分たちが6年生になったときの具体的な先輩像となります。まさに麻績小学校の将来へとつながる6年生の姿とも言えます。



6年生⇒4年生 受け継がれる伝統

一方で音楽室では、5年生の皆さんが新曲の練習に取り組んでいます。やがてここに4年生が加わり、新制金管バンド発足へとつながっていきます。いよいよ今後が楽しみになります。

6年生の皆さん、今しばらく後輩に力を貸して、伝統を積み重ねていってください。そして保護者の皆様、今後ともご支援よろしくお願ひいたします。

＜追補＞ 休日の遊び方について（お願い）

先週号の各学年だよりでお願いしましたこの件につきまして、「お祭りやイベントの際にお金の扱いをどうすればよいのか」というお問い合わせをいただきました。従来のとおり、ご家庭の判断でお願いしたいと考えていますが、学校としては、トラブルが起きて学校で指導する場合、大切な授業時間を割かれたり職員複数名がかかりきりにならざるを得なくなったりと周りの子どもさんの学校生活への影響がとても大きく、残念なことになってしまいます。そこで、やむを得ず「放課後や休日などで子どもだけで遊ぶ時には、現金を持ってこない」という指導をさせていただきました。しかし、お祭りやイベント等においても同じようなトラブルが起きることが考えられますので、お子さんに持たせる金額やその使い方については、ご家庭の判断においてご指導をお願いします。